決算

22年度 市の財政状況

市の22年度決算の概要と総務省が実施している「地方財政状況調査」による普通会計（他の市町村と比較しやすいよう共通の基準で調整したもの）の決算の状況をお知らせします。

■22年度の歳入と歳出

「予算」は、1年間に入ってくるお金（歳入）と使うお金（歳出）の計画です。これに対し、実際のお金の使いみちと仕事の内容をまとめた実績が「決算」です。家庭に例えれば家計簿です。

「歳入」は市に入ってきたお金です。「歳出」は市が使ったお金です。22年度普通会計の歳入総額は626億5千万円。国の補助対象事業の減少（国庫支出金の減）や景気低迷による個人所得の減少（市民税の減）などにより、前年度比9億2千万円（1・4％）の減です。

これに対し、歳出総額は604億4千万円で、前年度比5億5千万円（0・9％）の増です。22年度に実施した主な事業は下表のとおりです。

歳入から歳出を差し引いた額は22億1千万円です。この差引額から繰越金（年度内に支出が終わらなかったため、翌年度へ繰り越すお金）を引いた額が黒字です。これらは主に一般家庭の貯金にあたる「基金」に積み立てます。市の貯金（各種基金のうち「財政調整基金」と「市債管理基金」）の合計は前年度比25億7千万円（32・8％）増の104億2千万円です。

22年度の市財政は黒字ですが、市税など市が自主的に収入できる財源「自主財源」は26・7％です。

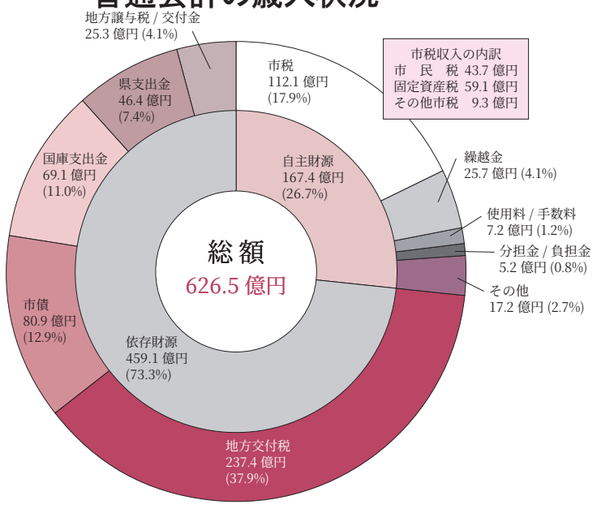
これに対し、地方交付税や補助金など国や県から交付される財源「依存財源」は73・3％です。まだまだ国や県への依存度が高いことがわかります。市の借入金「市債」残高は、前年度比1億円（0・1％）減の741億3千万円です。

■15の特別会計

市には一般会計のほかに15の特別会計があります。特別会計は、特定の収入を特定の支出に充てるような事業の収支を明確にするために一般会計と区別して設けられています。

このほかに、地方公営企業法の規定が適用され、使用料などその事業の収入などで運営する会計があり、これを「公営企業会計」といいます。一関市では水道事業が該当します。

普通会計の歳入状況



一関市は旧藤沢町と本年9月26日に合併したため、22年度決算は旧市町に分けて掲載します。10、11ページは一関市の決算、12ページは藤沢町の決算です。

一関市の22年度に実施した主な事業

事業名	事業費
東消防署建設事業	3億7千万円
萩荘中学校屋内運動場改築事業	2億8千万円
携帯電話等通信施設整備事業	2億7千万円
テレビ難視聴地区解消事業	2億4千万円
真湯観光施設整備事業	2億1千万円
流通団地金沢線・清水原一関線整備事業	1億7千万円
介護サービス施設整備事業補助金	1億7千万円
花の駅整備事業	1億4千万円
一関・山目中学校武道場整備事業	1億1千万円
山目駅前釣山線改良事業	1億1千万円

経済対策などの事業

事業名	事業費
市独自の経済対策事業	23億4千万円
経済対策のための臨時交付金事業	18億7千万円
緊急雇用創出事業・ふるさと雇用再生特別基金事業	4億8千万円
その他の国の追加経済対策など	3億8千万円

＊20～23年度総額は173億9千万円の見込み

地震災害復旧・復興事業

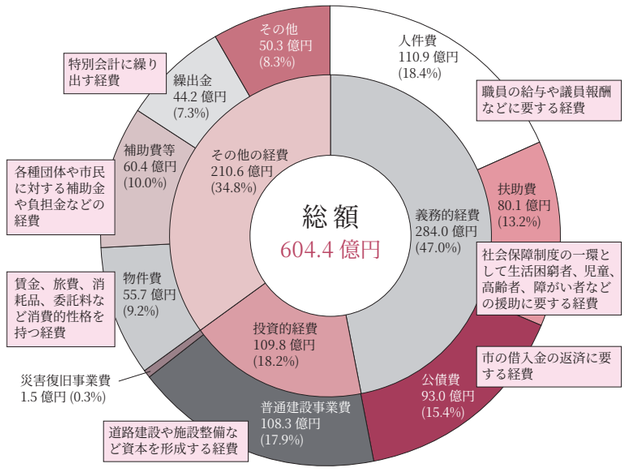
事業名	事業費
岩手宮城内陸地震復旧・復興費	5億9千万円
東日本大震災復旧・復興費	2千万円

＊20～23年度総額は120億円以上の見込み

一関市の22年度会計別の決算状況

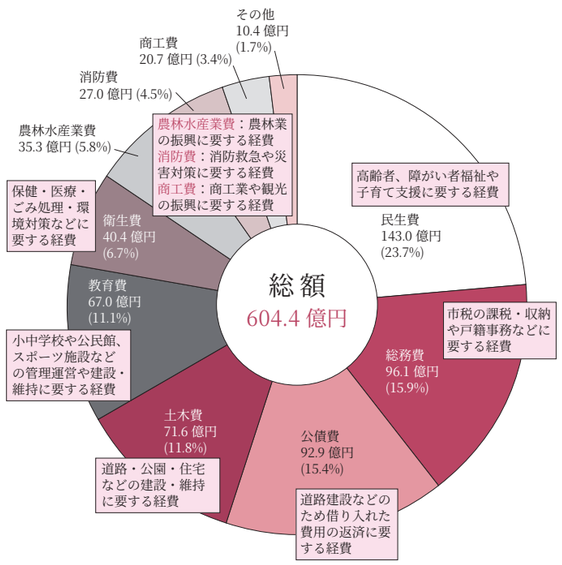
会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		625億5,497万円	603億5,500万円	21億9,997万円
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	122億6,412万円	119億4,049万円	3億2,363万円
	国民健康保険（直診勘定）	4億8,836万円	4億8,679万円	157万円
	老人保健	362万円	136万円	226万円
	後期高齢者医療	10億1,065万円	10億 832万円	233万円
	介護サービス事業	3,908万円	3,907万円	1万円
	土地取得事業	349万円	349万円	0万円
	金沢財産区	1,008万円	190万円	818万円
	都市施設等管理	8,017万円	7,919万円	98万円
	工業団地整備事業	3,368万円	3,368万円	0万円
	市営バス事業	1億3,802万円	1億3,802万円	0万円
	簡易水道事業	21億7,688万円	21億7,688万円	0万円
	下水道事業	33億6,581万円	33億2,526万円	4,055万円
	農業集落排水事業	2億9,552万円	2億9,551万円	1万円
	浄化槽事業	1億6,239万円	1億6,210万円	29万円
	物品調達	3,013万円	2,816万円	197万円
合計		826億5,697万円	800億7,522万円	25億8,175万円

普通会計の歳出状況



【性質別分類】
財政運営の健全性や弾力性を分析するのに適します。内訳は■義務的経費＝284億円(47.0％)■投資的経費＝109億8千万円(18.2％)▼その他の経費＝210億6千万円(34.8％)―です。

【目的別分類】
分野毎の使われ方で分類しています。歳出総額は604億4千万円で21年度と比べ5億5千万円（0.9％）の増です。



■行財政改革の推進など

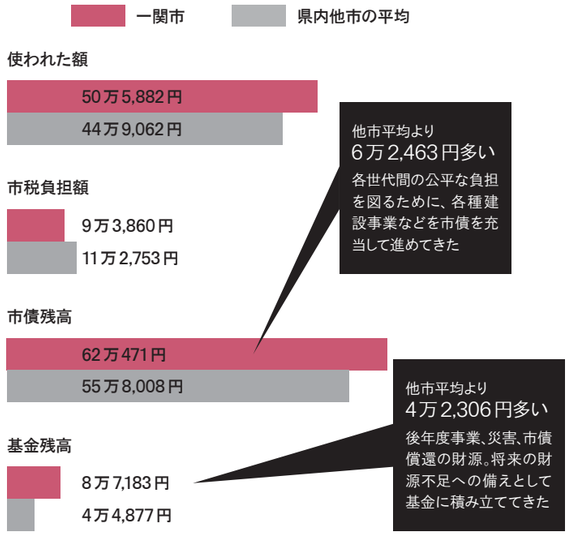
行財政改革の推進などにより各種経費を削減しました。このうち一関市の人件費は、職員数20人の減です（一般会計の人数比較）。

後年度の財政負担を軽減させるため、有利子の県借入金を繰り上げ償還しました（後年度負担軽減額2千万円）。

市債の繰り上げ償還を行った19年度から23年度までの5カ年の後年度負担軽減額は9億4千万円です。

第2次行政改革大綱の意見募集

市は第2次行政改革大綱の策定を進めています。計画の策定にあたり、市民皆さんの意見を反映させるため、意見を募集（パブリックコメント）します。計画案は、本庁財政課と各支所地域振興課に備え付けるほか、市ホームページに掲載します。

■**応募方法**　意見は住所、氏名、連絡先（電話番号など）を明記の上、郵送、ファクス、電子メール（様式不問）でも受け付けます。
■**受付期間**　11月1日㈫～11日㈮
■**応募先**　〒021-8501（住所不要）本庁財政課☎21-8233
Fax21-2164 電子メール zaisei@city.ichinoseki.iwate.jp

一関市の市民一人当たりの決算状況と県内他市平均との比較